

一方、(2b) は傘をなくした状態が「今も」続いている（そして困っているなど）というニュアンスが含まれる。

だから「傘をなくしたけど、幸運にも見つかったんだよ」と言いたいときには、

I lost [× I have lost] my umbrella but luckily I've found it.

と「なくしたこと」については過去形で、「今見つかった」ことに関しては現在完了で表現し分けてやる必要がある。

では、どういう原理の下で現在完了には「現在との関連」が表されているのだろうか？

それは、本動詞の have の意味に立ち戻って考えてみるとわかる。現在完了形〈have [has] +過去分詞〉の have は、もともと本動詞の have に由来するもので、〈所有〉の意味が残っている。実は、先の (2b) の文は、古い英語では〈have [has] +目的語 +過去分詞〉の語順で、I have my umbrella lost. といった形で表されていた。その語順が時を経て、〈have [has] +過去分詞+目的語〉の順になつていった。いってみれば過去分詞で表される状況の目的語を持っていることを述べる形だと言えるのだ。

よって、以下の 2 つの文には、本質的な意味の関連性があると考えられる。

(3) a. I have [a smartphone].  
 b. I have [lost my smartphone].

a.



b.



(3a) は本動詞 have の用法で、a smartphone という具体的な物を目的語としている。(3b) は、my smartphone を失われた状態で現在所有 (have) していることを述べた文だといえる。ここから、現在完了には基本的に「…を～された状態で今現在持っている」という感覚があることを理解しておくと、この後のページで説明される様々な用法・意味の共通性がわかりやすくなるだろう。なお、上に述べたのは他動詞の場合だが、自動詞の場合は、have の代りに be 動詞が用いられていた。この古い形は一部の動詞とのみ今の英語でも用いられることがある。

私たちはまだ君の返事を受け取っていない。

She must **have gone** back to her house. 彼女は家に帰ったに違いない。

You **haven't changed** a bit! あなたはちっとも変わっていないわね。

I **have decided** to quit the job. 私は仕事を辞めることにした。

They **have gone** out to do some shopping.

彼らはちょっと買い物に出かけています。

We **have** finally **reached** an agreement with the government.

私たちは遂に政府との合意に達した。

**Have you washed** your hands? 手は洗いましたか。

〈完了・結果〉の現在完了形で使われることの多い副詞

just (ちょうど), already (もう), yet ([疑問文] もう, [否定文] (not ...) yet で) まだ (…ない)  
など

【!】 already は肯定文で用いられ, yet は疑問文・否定文で用いられる。

John **has already** [ × yet] written his term paper.

ジョンはもう期末レポートを書き終えました。

Has John written his term paper **yet**?

ジョンはもう期末レポートを書きましたか。

John **has not** written his term paper **yet** [ × already].

ジョンはまだ期末レポートを書いていません。

※疑問文では、通常は yet だが, Has John written his term paper **already**?

(ジョンはもう期末レポートを書いたの!?) とすると、驚きの気持ちを込めた言い方になる。



## 発展 〈be + 自動詞の過去分詞〉の用法

昔 〈be + 自動詞の過去分詞〉 で 〈完了〉 を表していた名残で、一部の定型的表現のみ今でも使う。動作が完了した後の 〈結果〉 に重点がある。

1) Spring **is come**. (まれ) 春が来た。

≒ Spring **has come**. (現在は後者の has を用いるのが普通)

2) Summer **is gone**. 夏は過ぎ去った。

3) Are you **finished** with your homework? 宿題終わったかい。

4) He **is fully grown**. 彼はもう立派は大人だ。



【!】 経験を表すときは現在完了形を使うのが基本だが、(くだけて)では never / ever を用いる時には、過去形で経験を表すことがある。

Did you **ever see** a rainbow? 虹を見たことはある?

cf. Have you **ever seen** a rainbow?

### 発展 ever の用法



経験を表す現在完了形の肯定文では ever が使えないことがあるが、これには例外がある。最上級や序数詞を修飾する関係詞節内、否定の内容を意味する文においては、ever を使う。

- (1) Floyd Mayweather is the **strongest** boxer that I have **ever seen**.  
フロイド・メイウェザーは今までに私が観たことのある中で最強のボクサーです。
- (2) **No** human being has **ever** been to the Mars.  
今まで火星に着陸したことのある人間はいない。

### 練習問題 2：以下の英文を日本語に訳しなさい

→解答 p.94



- ① I've seen him on TV several times.
- ② Have you ever been to Hawaii?
- ③ I've met them once before at a hotel.

### 3 状態の継続

5 I **have lived** in this city *for* nearly ten years.

86

私は 10 年間近くずっと、この市に住んでいる。

6 They **have been** married *for* two years. 彼らは結婚してから 2 年になる。87



〈継続〉を表す現在完了形では、5の live のように（普通、進行形にならない）状態動

詞を “have done” の形で使う。pp.96-97 を参照。

**類例** I have been a fan of Arashi since 2014.

私は 2014 年以来の嵐のファンです。〔be は状態動詞〕

I have liked science-fiction movies ever since I was a kid.

私は子どもの頃からずっと SF 映画が好きでした。〔like は状態動詞〕

He has stayed in bed for the whole morning.

彼は午前中ずっとベッドでゴロゴロしていた。〔stay は状態動詞〕

### ここが Point! 〈継続〉の現在完了形で使われる副詞的表現

現在完了形が状態の継続を表す場合、「どれくらいの期間か」を表すのには 2 つの言い方がある。

## (1) since + 基準となる時

We have lived in Tokyo **since** [ × for] 2010.

私たち は 2010 年 から 東京 に 住んで いる。

## (2) for + 期間

We have lived in Tokyo **for** [ × since] *ten years*.

私たち は 10 年 間 東京 に 住んで いる。

なお、日本語では「10 年前から」という言い方が可能だが、英語では、since ... ago の形は用いないので注意。

✗ We have lived in Tokyo since ten years ago.

**【！】** 現在〔過去〕完了の have [had] been が for 句や since 句・節を伴わない場合は、現在の〔過去のある〕時点での状態がすでに終わっていることを暗示する。

Jane's been a nurse, but now she's a doctor.

ジェインは（以前は）看護師をしていたが今は医者である。

John had been a teacher before he became a computer engineer.

ジョンはコンピュータ技師になる前は教師だった。

※ Jane's been a nurse since 2015 [for ten years]. は「ジェインは 2015 年以来〔10 年ほど〕看護師をしている」の意で、現在もそうであることを暗示。

### 発信のヒント 「亡くなつて…年」の表し方

「祖母が亡くなつて 5 年になる」の 4 つの言い方 ((a) が最もふつう)

- a) My grandmother has been dead for five years.
- b) My grandmother died five years ago.
- c) Five years have passed since my grandmother died.
- d) It has been [It is] five years since my grandmother died.



c) では年月が主語になつていて、その年月が過ぎる (pass) という言い方。

d) では時を表す it を主語にする言い方。これら 2 つを混同しないこと。

How long is it [has it been] since we last met?

前回お会いしてからどれくらいになりますか。

It's been a long time [so long, 〔くだけて〕 ages] since I've had Italian food.  
久しくイタリア料理を食べてないなあ。

(1) since + 基準となる時 : since she was very young 彼女が幼い頃から

(2) for + 期間 : for two years 2年間

7では、「現在も継続してピアノを習い続けている」という意味が通常含まれる。

8の場合、厳密に言えば会話が行われたその時点では「待つ」という行為はすでに終了しており、直前までその行為が継続していたということを示している。このように、現在完了進行形は、実際にはその行為は終わっているが、余韻を感じるなど現在と何らかのつながりや影響を感じさせる場合に用いられることがある。8の場合は、今まで待たされたことに対する、穏やかならぬ気持が「余韻」となっている。

have been doing だからといって、「その行為がまだ終わっていない」とは限らないので、あくまで文脈・前後関係によって判断する必要がある。

**類例** She **has been crying** the whole day. 彼女は1日中泣き続けていた。

I **have been trying** to be nice to you recently.

私は最近きみにやさしくしようと心がけている。

Janis made her debut at the age of sixteen. She **has been singing** ever since. ジャニスは16歳でデビューし、以来ずっと歌い続けている。

※以下の例では、直前まで行為が継続されていたが、会話の時点では終了している。

Hey, you'll be playing that computer game again? You **have been playing** that the whole afternoon!

ちょっと、またゲームをやるつもり？ 午後中ずっとやっていたじゃないの。

The train will come soon. How long **have you been waiting** for it? 列車は間もなく到着します。どのくらいお待ちになりましたか。

## 発展

### コーパス 状態動詞の進行形

一般的に、具体的な動作や行為を表さない状態動詞は進行形にしない。ただし、want, hope, expectなどの感情を表す状態動詞では、「(長い間)ずっと…したいと思っている」といった、〈状態〉を強調したり強い願いを示す場合は、現在完了進行形が使われることがある。

I **have been wanting** to buy a tablet for a long time.

私はずっと長い間タブレットを買いたいと思っている。



## 質問箱

継続を表す場合、現在完了形と現在完了進行形はどのように使い分けるのでしょうか？

渡は少年時代に合衆国に住んでいた。

I **saw** [ × have seen] her at the cafe *on Friday*.

私は金曜日にカフェで彼女を見かけた。

The Angels **beat** [ × have beaten] the Mariners 4–1 *last weekend*.

先週末エンジェルズはマリナーズを4対1で退けた。

We **went** [ × have gone] to Kyoto on a school trip *in 2020*.

私たちは2020年に修学旅行で京都に行きました。

Otis **went** [ × have gone] to Europe several times *in the 1960s*.

オーティスは60年代に何度か渡欧した。

James **visited** [ × has visited] our house *last month*.

ジェイムズは先月我が家を訪問した。

I **was** [ × have been] extremely shy *in my younger days*.

私は若い頃とても恥ずかしがり屋だった。

現在完了形と一緒に使えない表現

ago, in 2011, in those days, last night [week, year], on July 11th, then, yesterday, When ... ?, What time ... ? など

cf. When did you **buy** [ × have you bought] this PC? いつこのパソコンを買ったのですか。

現在完了形と相性のいい表現

before, for the past [last] ... week(s) [month(s), year(s)], lately / recently (下の【!】を参照), so far, this week [month, year], today, up to now など

【!】「最近」を意味する副詞の使い分け

**lately / recently** : 現在完了または過去形で

**these days / nowadays** : 現在時制で

ここが Point! 2つの just now (= a very short time ago)

1) 「ついさっき」 ←過去(進行)形とともに

I saw John **just now**. たった今ジョンを見たよ。

2) 「ちょうど今, ただ今」 ←現在(進行)形とともに

I'm very busy **just now**. Call me later.

ちょうど今とても忙しいんだ。後で電話してくれる?



【!】 コーパス just および now はそれぞれ単独で現在完了形とともに使われることもある。

John has **just** written the report. / John has written the report **now**.

(米) では、 just / already / yet を過去形とともに用いることが多い。現在完了を過去形で代用していると言える。

Did you eat breakfast **yet**? 朝ごはん食べた?

cf. Have you eaten breakfast **yet**?



### 練習問題 5：カッコ内を埋める適切な語句を選択しなさい

→解答 p.99

① 私は昨日タロウとユウタをショッピングモールで見かけました。

I ( ) Taro and Yuta at the mall yesterday.

① saw ② have seen

② その小説をいつ読みましたか。

When ( ) read the novel?

① did you ② have you

③ 今週はずっと忙しいです。〔忙しくしています〕

I ( ) busy this week.

① was ② have been



## 4 過去完了形と過去完了進行形

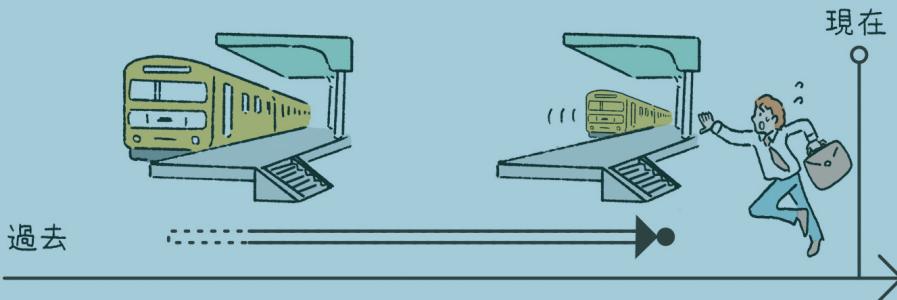
9 The train **had** already **left** when I ran up to the platform. 90  
ホームに駆け上がった時、電車はもう出てしまっていた。[完了・結果]

10 He **had** never **eaten** a raw egg before he came to Japan. 91  
彼は日本に来るまで、生卵を食べたことが一度もなかった。[経験]

11 She **had** **studied** in Britain for two years before she returned to Japan. 彼女は日本に帰国する前は、英国に2年間留学していた。[継続] 92

12 I lost the pen which I **had** **bought** a few days before. 93  
その数日前に買ったばかりのペンを失くした。[大過去]

13 They **had** **been fighting** each other until the teacher came. 94  
彼らは先生が来るまで、ずっとけんかしていた。[継続]



	形	意味と用例
過去完了形	〈had + 過去分詞〉	過去のある時点までの完了・結果、経験、継続を表す。(9~12)
過去完了進行形	〈had been + doing〉	過去のある時点までの継続を表すのに使われる。(13)

## 《1》過去のある時点までの完了・結果 (9)

**類例** I **had just finished** washing dishes when my mother came back.

母が帰ったとき、私はちょうど皿洗いを終えたところだった。

Robert **hadn't finished** his lunch when we came to his house.

私たちがロバートの家を訪れたときには、彼はまだ昼食を済ませていなかった。

When we arrived at the station, the train **had** already **left**.

私たちが駅に着いたとき、列車は既に出発してしまっていた。

I could not meet Himari because she **had left** the school already.

ひまりはもう下校してしまっていたので、私たちは彼女に会えなかった。

## 《2》過去のある時点までの経験 (10)

類例 We **had not been** able to win a game until he joined our team.  
彼が加入するまでは、我がチームは1勝もできなかった。

**Had** you ever **been** to a conveyor-belt sushi restaurant?

(そのときまでに) あなたは回転寿司屋に行ったことがありますか。

I **had** never **eaten** fish and chips before I went to London.

ロンドンに行くまでフィッシュ・アンド・チップスは食べたことがなかった。

## 《3》過去のある時点までの継続 (11 13)

類例 I **had lived** in Tokyo for two years before my father was transferred to Osaka. 私は父が大阪に転勤になるまで、東京に2年間住んでいた。

Yumi **had been walking** in the rain for ten minutes before she found a convenience store.

由美はコンビニが見つかるまで雨の中を10分間歩いていた。

I **had been waiting** for Tom since eight in the morning, until he arrived at noon.

私は昼にトムが到着するまで、午前8時から彼のことを探っていた。

## 《4》大過去 (12)

過去完了形が基準となる過去よりもさらに前に起きた出来事について述べるために使われる。12では、「ペンをなくした」という過去のある時を基準にして、それよりも「さらに数日前」という過去に「ペンを買った」ことを述べている。このように、「過去から見た過去」を表すために過去完了形が使われていることから、〈大過去〉と言われることがある。



類例 We had roast beef for dinner which my mother **had cooked** that morning. 私たちはその日の朝に母が作ったローストビーフを夕食にいただいた。  
The doctor treated the man who **had been** injured in the accident.  
その医師は事故で負傷した男性の治療にあたった。

## ここが Point! 過去完了は使いすぎるな

過去完了形は、過去のある時点までの完了・結果、経験、継続などを表すと分類できるが、その一番のポイントは、「2つの過去の時点のどちらが古いか前後関係をはっきりさせたい時に、より古い側に過去完了形を使う」という点にある。

**コーパス** 実際の運用にあたっては、上記の《2》《3》《4》の場合は、過去完了ではなく過去形で済まされる場合が多い。(米) や(話・くだけて)ではその傾向が顕著で、特に《4》の場合は、現代では過去形の使用が主流で、過去完了を用いると(かたく)響く。過去完了が過去形で代用されるのは、

## 1) 出来事が起こった順番通りに動詞が並べられている場合

※話し手が過去のある時を基準にして「その時までには…していた」と言いたいときには、過去完了形(大過去)が使われるが、出来事が起こった順番通りに動詞を並べるのなら、過去完了形は使わず過去形を使う。発信の場面においては、大抵は過去形で済まされる場合が多い。

I **gave** my brother a hat which my father **had bought** for me.

→ I **gave** my brother a hat (which) my father **bought** for me.

→ My father **bought** a hat for me and I **gave** it to my brother.

## 2) 順序を示す接続詞が文中で用いられている場合 (after, before, until, by the time など; → p.100 《2》《3》類例)

※(after や before を使うなど) 文脈から前後関係が明らかな場合、過去完了形を使わなくてもよい。

I **went** to the library **after** I cleaned the classroom.

私は教室を掃除し終えてから図書館に行った。

3) 文脈から、出来事の発生順が明らかである場合 (→ p.100 《4》類例)  
といった場合である。

## 発展 過去完了の示す「実現されなかった」響き

intend, expect, want, thinkなどの動詞が過去完了形で使われると、実現されなかつたというニュアンスを持つ。

I **had intended** to email [ (ややまれ) I intended to have emailed] her.

私は彼女にメールをするつもりだった(ができなかつた)。

I **had expected** to pass the exam easily, but I couldn't.

私はその試験に簡単に通ると思っていたが、できなかつた。





## 質問箱

「完了・結果」「経験」「継続」の用法は、どのように判別したらいいのですか？

現在完了形は、「完了・結果」「経験」「継続」の3つの用法に分類できるといいますが、ではある用例がどの用法に該当するのか、どうやって判別するのかを見てみましょう。

- (1) **I have lost** my umbrella. 私は傘をなくした。
- (2) **I have lost** my umbrella twice. 私は2回傘をなくした。
- (3) **I have lived** in Houston since 2007.

私はヒューストンに2007年から住んでいる。

(1) は「なくしてしまった」結果、現在困っている状態にあることを述べているので「完了・結果」になります。(2) は「今まで2回なくした」という経験について語っているので「経験」です。(3) は「住んでいる」という状態がまだ続いているので「継続」を表す用法だと考えられます。

ただし、この3用法はあくまでも便宜的な分類にすぎません。たとえば、前後の文脈もない場合、**I have visited the museum.** という1文だけを見て、それがどの用法に該当するのかを判断することはできません。次に示すように、**already**, **before**などの副詞があれば「完了・結果」なのか、あるいは「経験」なのかがわかります。

- (4) **I have visited** the museum **already**.  
もうその美術館には行った。[完了・結果]
- (5) **I have visited** the museum **before**.  
その美術館にかつて行ったことがある。[経験]

要は、分類することそれ自体にこだわるのではなく、〈過去の出来事や状態が現在にどのような影響を与えているかを考慮して述べる〉という現在完了形の本質を理解することが大切なのです。